

第1章 簿記の基本

練習問題

問1 簿記の基礎

つぎの空欄（1）～（4）に当てはまる適切な語句を下記の語群から選んで記入しなさい。

語群 貸借対照表 損益計算書 財政状態 経営成績

- ① 簿記の主要な目的は、（ （1） ）と（ （2） ）を明らかにすることである。（ （1） ）とは、一定時点における会社の財産などの状況のことである。そして、（ （2） ）とは、一定期間にどれだけ「もうかったか」を示すものである。
- ② 一定時点の会社の財政状態を明らかにする報告書を（ （3） ）といい、会社の一定期間の経営成績を明らかにする報告書を（ （4） ）という。

(1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____

問2 貸借対照表と損益計算書

つぎの空欄（1）～（5）に当てはまる適切な語句を下記の語群から選んで記入しなさい。

語群 資産 資本 負債 費用 収益

貸借対照表		損益計算書	
((1))	((2))	((5))	((4))
	((3))	当期純利益	

(1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
(5) _____

問3 仕訳と転記

つぎの各要素が増加または減少したとき、仕訳の借方と貸方のどちらに記入されるのか、借方または貸方に○をつけなさい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① 資産の増加 → 借方・貸方 | ⑤ 資本の増加 → 借方・貸方 |
| ② 資産の減少 → 借方・貸方 | ⑥ 資本の減少 → 借方・貸方 |
| ③ 負債の増加 → 借方・貸方 | ⑦ 収益の増加 → 借方・貸方 |
| ④ 負債の減少 → 借方・貸方 | ⑧ 費用の増加 → 借方・貸方 |

第2章 商品売買

練習問題

問1 商品売買の処理①

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売上 仕入

- ① 埼玉商事(株)から商品 20,000 円を仕入れ、代金は現金で支払った。
- ② 静岡商事(株)に上記①の商品を 25,000 円売上げ、代金は現金で受け取った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問2 商品売買の処理② ●2027年度

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。また、商品売買取引については、商品の販売のつど売上原価勘定に振り替える方法を用いて記帳を行っている。

勘定科目 現金 商品 売上 仕入 売上原価

- ① 神奈川商事(株)から商品 20,000 円を仕入れ、代金は現金で支払った。
- ② 千葉物産(株)に商品（売価 15,000 円、原価 12,000 円）を売上げ、代金は現金で受け取った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問3 掛け取引による商品売買

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 買掛金 売上 仕入

- ① 千葉商事(株)から商品 25,000 円を仕入れ、代金は掛けとした。
- ② 愛知産業(株)に上記①の商品を 30,000 円で販売し、代金は掛けとした。
- ③ 千葉商事(株)に買掛金 15,000 円を現金で支払った。
- ④ 愛知産業(株)から売掛金 20,000 円を現金で回収した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問4 商品の返品

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 買掛金 売上 仕入

- ① 千葉商事(株)から掛けで仕入れた商品のうち、5,000 円を品違いのため返品した。
- ② 愛知産業(株)に掛けで販売した商品のうち、3,000 円が品違いのため返品された。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問5 諸掛り

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 立替金 買掛金 売上 仕入 発送費

- ① 埼玉商事(株)から商品 20,000 円を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取費用 1,000 円を現金で支払った。
- ② 千葉商事(株)から商品 25,000 円を掛けで仕入れた。なお、先方負担の引取運賃 1,000 円は現金で支払った。
- ③ 商品を 31,500 円（送料込み）で静岡商事(株)へ販売し、代金は掛けとした。また、同時に運送業者へ商品を引き渡し、送料 1,500 円は現金で支払った。
- ④ 神奈川商事(株)に商品 40,000 円を売上げ、代金は掛けとした。また、同時に運送業者へ商品を引き渡し、送料（当社負担）1,800 円は現金で支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問6 クレジット売掛金

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 普通預金 売掛金 クレジット売掛金 売上 支払手数料

- ① 商品 20,000 円をクレジットカードにより販売した。なお、信販会社への手数料（販売代金の 5%）は販売時に計上する。
- ② 上記①の取引について、手数料を差し引かれた手取額が信販会社より当社の普通預金口座に振り込まれた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問7 商品券

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 受取商品券 売上 仕入

- ① 商品 5,000 円を売上げ、商店街が発行した商品券 3,000 円と現金 2,000 円を受け取った。
- ② 売上代金として受け取った商店街発行の商品券 3,000 円を買い取ってもらい、代金は現金で受け取った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

第3章 現金と預金

練習問題

問1 現金・現金過不足①

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 売上 仕入

- ① 埼玉商事(株)に商品20,000円を売り上げ、代金は現金で受け取った。
- ② 千葉物産(株)に商品30,000円を売り上げ、代金は同社振出の小切手で受け取った。
- ③ 愛知産業(株)の売掛金40,000円の回収として、郵便為替証書を受け取った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問2 現金・現金過不足②

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 現金過不足 水道光熱費 雑益 雑損

- ① 現金の帳簿残高が3,000円のところ、実際有高は2,200円であった。
- ② ①の現金過不足の原因を調べたところ、500円については水道光熱費の計上漏れであることが判明した。
- ③ 本日決算日につき、①で生じた現金過不足のうち原因不明の300円について雑損または雑益で処理する。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問3 現金・現金過不足③

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 現金過不足 雑益 雑損

- ① 現金の帳簿残高が3,000円のところ、実際有高は3,500円であった。
- ② ①の現金過不足の原因を調べたところ、400円については売掛金の回収が記帳漏れであることが判明した。
- ③ 本日決算日につき、①で生じた現金過不足のうち原因不明の100円について雑損または雑益で処理する。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問4 普通預金・定期預金①

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 定期預金

- ① 普通預金口座に現金20,000円を預け入れた。
- ② 定期預金口座に現金50,000円を預け入れた。
- ③ 普通預金口座から現金10,000円を引き出した。
- ④ 定期預金口座から普通預金口座に30,000円を預け替えた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問5 普通預金・定期預金②

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金第一銀行 普通預金第二銀行 定期預金第一銀行 通信費

- ① 第一銀行の普通預金口座に現金 20,000 円を預け入れた。
- ② 第一銀行の定期預金口座に現金 30,000 円を預け入れた。
- ③ 第二銀行の普通預金口座から通信費 5,000 円が引き落とされた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問6 当座預金・当座借越①

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 当座預金 当座借越 買掛金

- ① 埼玉商事(株)は銀行と当座取引契約を結び、当座預金口座に現金 20,000 円を預け入れた。
- ② 埼玉商事(株)は、買掛金 10,000 円を小切手を振り出して支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問7 当座預金・当座借越②

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 当座預金 当座借越 通信費

- ① 千葉商事(株)は、当座預金口座から電話代（通信費）10,000円を口座振替によって支払った。なお、当座預金口座の残高は8,000円であったが、千葉商事(株)は取引銀行と借越限度額50,000円の当座借越契約を結んでいる。
- ② 決算日を迎えた。千葉商事(株)の当座預金の残高は2,000円の貸方残高である。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問8 小口現金

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 小口現金 通信費 旅費交通費 消耗品費

- ① 定額資金前渡法（インプレスト・システム）を採用し、小口現金10,000円を現金で小口係に前渡しした。
- ② 小口係から以下の支払報告を受けた。
切手代2,200円、バス代2,800円、コピー用紙代2,500円
- ③ 小口係に、上記②で支払報告を受けた金額の現金を渡して、小口現金を補給した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

第4章 手形・電子記録債権と貸付金・借入金

練習問題

問1 手形 ●2026年度

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 当座預金 受取手形 売掛金 支払手形 買掛金

- ① 静岡商事(株)は、埼玉商事(株)に対する買掛金20,000円を支払うため、約束手形を振り出した。
- ② 静岡商事(株)は、上記①の約束手形の支払期日となったため、手形代金20,000円が当座預金口座から引き落とされた旨の通知を受けた。
- ③ 埼玉商事(株)は、静岡商事(株)に対する売掛金20,000円について、静岡商事(株)振出の約束手形を受け取った。
- ④ 埼玉商事(株)は、上記③の約束手形の支払期日となり、手形代金20,000円が当座預金口座に入金された旨の通知を受けた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問2 電子記録債権・債務

つぎの取引について、埼玉商事(株)と静岡物産(株)の仕訳をしなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 普通預金 売掛金 電子記録債権 買掛金 電子記録債務 売上 仕入

- ① 埼玉商事(株)は、静岡物産(株)から商品10,000円を掛けで仕入れた。
- ② 埼玉商事(株)および静岡物産(株)は、①の掛け代金について、取引銀行を通じて電子記録債権（債務）の発生記録を行った。
- ③ 支払期限が到来したので、埼玉商事(株)は上記の電子記録債務を普通預金口座を通じて決済し、静岡物産(株)の普通預金口座に入金された。

<埼玉商事(株)>

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

<静岡物産(株)>

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問3 貸付金・借入金①

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 貸付金 借入金 受取利息 支払利息

- ① 千葉商事(株)に現金 50,000 円を貸し付けた。
- ② 千葉商事(株)から①の貸付金 50,000 円を、利息 500 円とともに現金で回収した。
- ③ 取引銀行より現金 100,000 円を借り入れた。
- ④ 取引銀行に③の借入金 100,000 円を返済し、利息とともに普通預金口座から支払った。なお、当該借入金の年利率は 3%、借入期間は 8 カ月である。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問4 貸付金・借入金②

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 普通預金 貸付金 借入金 受取利息 支払利息

- ① 愛知商事(株)に対し、貸付期間1年、利率年2%の条件で200,000円を貸し付け、1年分の利息を差し引いた残額を普通預金口座から愛知商事(株)の当座預金口座に振り込んだ。
- ② 上記①の貸付金の満期日となり、愛知商事(株)から貸付金200,000円が当社の普通預金口座に入金された。
- ③ 取引銀行より借入期間10カ月、利率年3%の条件で300,000円を借り入れ、10カ月分の利息を差し引かれた残額が普通預金口座に入金された。
- ④ 上記③の借入金の満期日となり、借入金300,000円を普通預金口座から返済した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問5 貸付金・借入金③ ●2026年度

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 手形貸付金 手形借入金

- ① 静岡商事(株)に現金100,000円を貸し付け、同額の約束手形を受け取った。
- ② 埼玉商事(株)より現金200,000円を借り入れ、同額の約束手形を振り出した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

第5章 その他の債権・債務

練習問題

問1 未収入金・未払金

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 土地 備品 未収入金 未払金

- ① 土地を200,000円で売却し、代金は翌月末に受け取ることにした。
- ② 上記①の未収代金が普通預金口座に入金された。
- ③ 備品80,000円を購入し、代金は月末に支払うことにした。
- ④ 上記③の未払代金を現金で支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問2 前払金・前受金

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 前払金 買掛金 前受金 売上 仕入

- ① 千葉商事(株)に商品30,000円を注文し、内金として現金5,000円を支払った。
- ② 千葉商事(株)より、商品30,000円を仕入れ、代金のうち5,000円は注文時に支払った内金と相殺し、残額は掛けとした。
- ③ 愛知産業(株)より商品50,000円の注文を受け、内金として10,000円を現金で受け取った。
- ④ 愛知産業(株)に商品50,000円を販売し、代金のうち10,000円は注文時に受け取った内金と相殺し、残額は掛けとした。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問3 仮払金・仮受金

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 売掛金 仮払金 仮受金 旅費交通費

- ① 従業員の出張にあたり、旅費の概算額 30,000 円を現金で前渡しした。
- ② 出張中の従業員から普通預金口座に 10,000 円の入金があったが、内容は不明である。
- ③ ①で出張していた従業員が戻り、旅費を精算し、現金 5,000 円を受け取った。
- ④ ②の内容不明の入金は売掛金の回収額であることが判明した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問4 立替金・預り金

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 立替金 所得税預り金 給料

- ① 従業員が負担すべき生命保険料2,000円を現金で立て替えた。
- ② 従業員に支払う給料100,000円のうち、さきに立て替えた2,000円と源泉所得税10,000円を差し引き、残額を普通預金口座から振り込んだ。
- ③ ②で預り金として処理していた源泉所得税10,000円を現金で税務署に納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

第6章 有形固定資産と減価償却

練習問題

問1 有形固定資産の購入

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 土地 建物 備品 未払金 修繕費

- ① 備品 100,000 円を購入し、代金は設置費用 10,000 円とともに現金で支払った。
- ② 土地 500,000 円を購入し、代金は月末に支払うことにした。なお、仲介手数料 15,000 円と登記料 5,000 円は現金で支払った。
- ③ 建物の改良と修繕を行い、100,000 円を普通預金口座から振り込んだ。なお、このうち資本的支出は 80,000 円であり、残額は収益的支出である。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問2 有形固定資産の減価償却

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。また、会計期間は4月1日から3月31日までの1年である。

勘定科目 建物減価償却累計額 備品減価償却累計額 減価償却費

- ① 決算において、当期の期首に取得した建物（取得原価 240,000 円）について減価償却を行う。なお、減価償却方法は定額法（耐用年数 30 年、残存価額はゼロ）、記帳方法は間接法による。
- ② 決算において、当期の期首に取得した備品（取得原価 120,000 円）について減価償却を行う。なお、減価償却方法は定額法（耐用年数 8 年、残存価額はゼロ）、記帳方法は間接法による。

- ③ 決算において、当期の12月1日に取得した備品（取得原価180,000円）について減価償却を行う。なお、減価償却方法は定額法（耐用年数8年、残存価額はゼロ）、記帳方法は間接法による。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問3 有形固定資産の減価償却（定率法）◆2027年度

つぎの取引について仕訳しなさい。ただし、減価償却方法は定率法（償却率20%）によって間接法により記帳すること。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。また、会計期間は4月1日から3月31日までの1年である。

勘定科目 現金 備品 備品減価償却累計額 減価償却費

- ① ×1年4月1日 備品395,000円を購入し、代金は据付費用5,000円とともに現金で支払った。
- ② ×2年3月31日 決算につき、減価償却を行う。
- ③ ×3年3月31日 決算につき、減価償却を行う。
- ④ ×4年3月31日 決算につき、減価償却を行う。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問4 有形固定資産の売却

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。
また、会計期間は4月1日から3月31日までの1年である。

勘定科目 現金 未収入金 建物 備品 建物減価償却累計額 備品減価償却累計額
固定資産売却益 固定資産売却損 減価償却費

- ① 当期首において、建物（取得原価300,000円、減価償却累計額120,000円）を150,000円で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この建物の減価償却方法は定額法であり、記帳方法は間接法である。
- ② 当期末において、備品（取得原価は180,000円、減価償却累計額90,000円）を70,000円で売却し、代金は現金で受け取った。なお、この備品の減価償却方法は定額法（耐用年数は6年、残存価額はゼロ）であり、記帳方法は間接法である。当期分の減価償却費も計上すること。
- ③ 当期の10月31日に、備品（取得原価は180,000円、減価償却累計額90,000円）を80,000円で売却し、代金は翌月末に受け取ることにした。なお、この備品の減価償却方法は定額法（耐用年数は6年、残存価額はゼロ）であり、記帳方法は間接法である。当期分の減価償却費は月割りで計上すること。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問5 有形固定資産の除却と廃棄 ●2027年度

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 備品 貯蔵品 備品減価償却累計額
固定資産除却損 固定資産廃棄損

- ① 当期首において、備品（取得原価150,000円、減価償却累計額100,000円、間接法で記帳）を除却した。なお、この備品の処分価額は40,000円と見積もられた。
- ② 当期首において、備品（取得原価180,000円、減価償却累計額150,000円、間接法で記帳）を廃棄した。なお、廃棄費用3,000円は現金で支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

第7章 株式の発行・剰余金の配当と処分

練習問題

問1 株式の発行

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 普通預金 当座預金 資本金

- ① 群馬商事(株)は、会社設立にあたり、株式500株を1株600円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金とした。
- ② 長野物産(株)は、増資にあたり、株式400株を1株800円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は普通預金とした。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問2 剰余金の配当と処分

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 普通預金 未払配当金 繰越利益剰余金 利益準備金 損益

- ① 当期純利益100,000円を損益勘定から繰越利益剰余金勘定に振り替える。
- ② 株主総会の決議により、繰越利益剰余金の配当および処分をつぎのように決定した。

株主配当金40,000円 利益準備金4,000円

- ③ 上記②の株主配当金を普通預金口座から支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

第8章 その他さまざまな取引

練習問題

問1 法人税

つぎの一連の取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 仮払法人税等 未払法人税等 法人税、住民税及び事業税

- ① 中間申告を行い、法人税6,000円、住民税2,000円、事業税1,000円を現金で中間納付した。
- ② 決算につき、当期の法人税、住民税及び事業税が20,000円と確定した。
- ③ 確定申告を行い、上記②の未払法人税等を現金で納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問2 消費税

つぎの一連の取引について、税抜方式で仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 仮払消費税 仮受消費税 未払消費税 売上 仕入

- ① 商品20,000円を仕入れ、代金は消費税2,000円とともに現金で支払った。
- ② 商品50,000円を売り上げ、代金は消費税5,000円とともに現金で受け取った。
- ③ 決算につき、仮払消費税と仮受消費税を相殺し、消費税の納付額を確定した。
- ④ 上記③の消費税の納付額を現金で納付した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問3 通信費と租税公課等

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 貯蔵品 通信費 租税公課 諸会費

- ① 郵便切手2,200円を購入し、現金で支払った。
- ② 事務所建物の固定資産税15,000円を普通預金口座から支払った。
- ③ 収入印紙3,000円分を購入し、現金で支払った。
- ④ 決算日において、①の郵便切手800円分と、③の収入印紙1,000円分が残っている。
- ⑤ 翌期首を迎えた。
- ⑥ 地域商店会の年会費12,000円を現金で支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

問4 差入保証金・支払家賃

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 普通預金 差入保証金 支払家賃 支払地代 支払手数料 修繕費

- ① 事務所の賃借にあたって、敷金100,000円を現金で支払った。
- ② 店舗の賃借（1カ月分の家賃は100,000円）にあたって、1カ月分の家賃、不動産会社への仲介手数料（家賃1カ月分）、敷金（家賃2カ月分）を普通預金口座から支払った。
- ③ 事務所の家賃1カ月分50,000円を現金で支払った。
- ④ 店舗の賃貸借契約の終了にともない、契約時に差し入れた敷金200,000円から修繕費用20,000円を差し引かれた残額が普通預金口座に振り込まれた。
- ⑤ 今月分の駐車場代金50,000円を普通預金口座から支払った。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				

問5 訂正仕訳

つぎの取引について、誤った仕訳が見つかった。誤った仕訳を正しい仕訳に訂正する仕訳をしなさい。

- ① 商品 30,000 円を売り上げ、代金は掛けとしたが、誤って以下の仕訳をしていた。

(借) 売	掛	金	3,000	(貸) 売	上	3,000
-------	---	---	-------	-------	---	-------

- ② 備品 50,000 円を購入し、代金は現金で支払ったが、誤って以下の仕訳をしていた。

(借) 備	品	50,000	(貸) 未	払	金	50,000
-------	---	--------	-------	---	---	--------

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

第9章 帳簿

練習問題

問1 主要簿と補助簿

つぎの取引について仕訳をするとともに、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。

4月3日 商品10,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。

10日 買掛金20,000円を現金で支払った。

12日 商品50,000円を売り上げ、代金のうち10,000円は現金で受け取り、残額は掛けとした。

15日 売掛金30,000円を現金で回収した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/3				
10				
12				
15				

現 金

4/1	前 月 繰 越	50,000	4/3	() ()
12	() ()		10	() ()
15	() ()			

売 掛 金

4/1	前 月 繰 越	30,000	4/15	() ()
12	() ()			

買 掛 金

4/10	() ()	4/1	前 月 繰 越	25,000
------	---------	-----	---------	--------

売 上

		4/12	() ()
--	--	------	---------

仕 入

4/3	() ()		
-----	---------	--	--

問2 小口現金出納帳①

つぎの取引を小口現金出納帳に記入しなさい。なお、週末における締め切りと小口現金の補給の記入も行うこと。当社は定額資金前渡法（インプレスト・システム）を採用しており、小口現金として10,000円を受け入れている。また、小口現金の補給は現金によって、翌週の月曜日に行っている。

7月1日（月） 切手代 1,200円
 2日（火） お茶代 1,000円
 3日（水） 電車代 1,800円
 4日（木） 事務用品代 2,000円
 5日（金） タクシー代 2,500円

小口現金出納帳

受入	○年		摘要	支払	内 訳			
					旅費交通費	通信費	消耗品費	雑費
10,000	7	1	本日補給					
			合 計					
			次週繰越					
	7	8	前週繰越					
		//	本日補給					

問3 小口現金出納帳②

つぎの取引を(1)小口現金出納帳に記入しなさい。なお、週末における締め切りと小口現金の補給の記入も行うこと。また、(2)12日(金)に行われるべき仕訳をしなさい(勘定科目はつぎの中から選ぶこと)。当社は定額資金前渡法(インプレスト・システム)を採用しており、小口現金として10,000円を受け入れている。また、小口現金の補給は現金によって、週末の金曜日に行っている。

勘定科目 現金 旅費交通費 通信費 消耗品費 雑費

7月8日(月) ハガキ代 1,700円
 9日(火) コピー用紙代 900円
 タクシー代 1,800円
 10日(水) 電車代 1,100円
 11日(木) 新聞代 2,700円
 12日(金) コーヒー代 800円

(1)

小口現金出納帳

受入	〇年		摘要	支払	内 訳			
					旅費交通費	通信費	消耗品費	雑費
10,000	7	8	前週繰越					
			合 計					
		//	本日補給					
		//	次週繰越					
		15	前週繰越					

(2)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
7/12				

問4 仕入帳・売上帳

つぎの取引を売上帳と仕入帳に記入して、完成させなさい。

- 6月5日 埼玉商事(株)からつぎの商品を掛けで仕入れた。
A商品 50個 @300円 B商品 40個 @500円
- 7日 5日に仕入れた商品のうち、B商品2個を返品した。
- 10日 静岡商事(株)につぎの商品を掛けで売り上げた。
A商品 30個 @400円 B商品 20個 @600円
- 12日 10日に売り上げた商品のうち、A商品2個が返品された。
- 15日 千葉商事(株)からつぎの商品を掛けで仕入れた。
C商品 40個 @350円 D商品 20個 @550円
- 20日 愛知産業(株)につぎの商品を掛けで売り上げた。
C商品 20個 @450円 D商品 10個 @650円

仕 入 帳

○ 年	摘 要	内 訳	金 額
6 5	埼玉商事(株) 掛け		
	A商品 (個) (@ 円)	()	
	B商品 (個) (@ 円)	()	()
7	埼玉商事(株) 掛け返品		
	B商品 (個) (@ 円)		()
15	千葉商事(株) 掛け		
	C商品 (個) (@ 円)	()	
	D商品 (個) (@ 円)	()	()
30	総仕入高		()
//	仕入戻し高		()
	純仕入高		()

売 上 帳

○ 年	摘 要	内 訳	金 額
6 10	静岡商事(株) 掛け		
	A商品 (個) (@ 円)	()	
	B商品 (個) (@ 円)	()	()
12	静岡商事(株) 掛け返品		
	A商品 (個) (@ 円)		()
20	愛知産業(株) 掛け		
	C商品 (個) (@ 円)	()	
	D商品 (個) (@ 円)	()	()
30	総売上高		()
//	売上戻り高		()
	純売上高		()

問5 売掛金元帳

つぎの取引を売掛金元帳（埼玉商事株）に記入しなさい。

- 5月1日 前月繰越 120,000円
 （内訳：埼玉商事株 80,000円 神奈川商事株 40,000円）
- 6日 埼玉商事株に商品60,000円を売上げ、代金は掛けとした。
- 8日 神奈川商事株に商品40,000円を売上げ、代金は掛けとした。
- 10日 6日に埼玉商事株に売上げた商品のうち2,000円が返品された。
- 12日 埼玉商事株に商品30,000円を売上げ、代金は現金で受け取った。
- 25日 埼玉商事株に対する売掛金のうち50,000円を現金で回収した。

売 掛 金 元 帳

埼玉商事株

○ 年		摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
5	1	前 月 繰 越				
	31	次 月 繰 越				
6	1	前 月 繰 越				

問6 買掛金元帳

つぎの取引を買掛金元帳（山梨商事株）に記入しなさい。

5月1日 前月繰越 90,000円

（内訳：山梨商事株 60,000円 静岡商事株 30,000円）

5日 静岡商事株から商品40,000円を仕入れ、代金は掛けとした。

7日 山梨商事株から商品60,000円を仕入れ、代金のうち10,000円は現金で支払い、残額は掛けとした。

9日 7日に山梨商事株から仕入れた商品のうち3,000円を返品した。

15日 山梨商事株から商品20,000円を仕入れ、代金は現金で受け取った。

20日 山梨商事株に対する買掛金のうち30,000円を現金で支払った。

買 掛 金 元 帳

山梨商事株

○ 年		摘 要	借 方	貸 方	借 貸	残 高
5	1	前 月 繰 越				
	31	次 月 繰 越				
6	1	前 月 繰 越				

問7 商品有高帳①

つぎの資料にもとづいて、先入先出法により商品有高帳に記入しなさい。なお、仕入戻しは払出欄に記入すること。

9月1日	前月繰越	50個	@ 250円
5日	仕入	100個	@ 260円
8日	売上	120個	@ 380円
15日	仕入	150個	@ 280円
18日	仕入戻し	10個	@ 280円 (15日仕入れ分)
22日	売上	150個	@ 390円

商 品 有 高 帳

(先入先出法)

[illegible]

問8 商品有高帳②

つぎの資料にもとづいて、(1)移動平均法により商品有高帳に記入しなさい。また、(2)売上高、売上原価、売上総利益を計算しなさい。

9月1日 前月繰越 50個 @ 400円
 8日 仕 入 150個 @ 440円
 12日 売 上 120個 @ 500円
 20日 仕 入 120個 @ 450円
 24日 売 上 150個 @ 540円

(1)

商 品 有 高 帳

(移動平均法)

日付		摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越									
	30	次月繰越									
10	1	前月繰越									

(2)

売 上 高： _____ 円

売 上 原 価： _____ 円

売上総利益： _____ 円

問9 固定資産台帳

つぎの固定資産台帳を完成させなさい。なお、当期は×2年4月1日から×3年3月31日までである。

固 定 資 産 台 帳

取得年月日	名称等	償却方法	耐用年数	取得原価	期首減価償却累計額	差引期首帳簿価額	当期減価償却費	期末帳簿価額
×1年4月1日	備品A	定額法	6年	300,000				
×2年4月1日	備品B	定額法	5年	200,000				

※定額法、残存価額ゼロ

問10 補助簿の選択

当社は以下の補助簿を用いている。つぎの取引はどの補助簿に記入されるのか、○印をつけなさい。

- ① 商品 20,000 円を売り上げ、代金は掛けとした。
- ② 商品 50,000 円を仕入れ、代金のうち 10,000 円は現金で支払い、残額は掛けとした。
- ③ 以前に掛けで仕入れた商品について、品違いのため 2,000 円を返品した。
- ④ 備品 80,000 円を購入し、代金は翌月末日に支払うことにした。なお、設置費用 1,000 円は現金で支払った。
- ⑤ 決算において、所有する備品について、当期の減価償却費 20,000 円を計上した（記帳方法は間接法）。

取 引 補助簿	①	②	③	④	⑤
現金出納帳					
売上帳					
仕入帳					
売掛金元帳					
買掛金元帳					
商品有高帳					
固定資産台帳					

第10章 伝票と証ひょう、試算表

練習問題

問1 伝票

当社は入金伝票、出金伝票、振替伝票の3種類の伝票を用いている。つぎの取引について伝票に記入しなさい。

- ① 商品60,000円を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃2,000円は現金で支払った。

出 金 伝 票	
科 目	金 額
仕 入	2,000

振 替 伝 票			
借方科目	金 額	貸方科目	金 額

- ② 商品80,000円を売り上げ、代金のうち10,000円は現金で受け取り、残額は掛けとした。

入 金 伝 票	
科 目	金 額

振 替 伝 票			
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
	80,000		80,000

問2 仕訳日計表

当社は入金伝票、出金伝票、振替伝票の3種類の伝票を用いており、1日分ずつ集計して仕訳日計表を作成後、各関係元帳に転記している。

当社の6月1日に作成された以下の各伝票にもとづいて、仕訳日計表を作成するとともに、各関係元帳へ転記しなさい。

<u>入金伝票</u> No.101 売掛金（埼玉商事） 6,000	<u>出金伝票</u> No.201 買掛金（千葉物産） 4,000
<u>入金伝票</u> No.102 売 上 7,000	<u>出金伝票</u> No.202 仕 入 5,000
<u>振替伝票</u> No.301 売掛金（埼玉商事） 8,000 売 上 8,000	<u>振替伝票</u> No.302 仕 入 3,000 買掛金（千葉物産） 3,000
<u>振替伝票</u> No.303 売掛金（静岡商事） 9,000 売 上 9,000	<u>振替伝票</u> No.304 仕 入 6,000 買掛金（長野商事） 6,000

仕 訳 日 計 表

○年6月1日

12

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
		現 金		
		売 掛 金		
		買 掛 金		
		売 上		
		仕 入		

総勘定元帳

現金

1

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前月繰越	✓	10,000		借	10,000

売掛金

5

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前月繰越	✓	30,000		借	30,000

買掛金

14

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前月繰越	✓		10,000	貸	10,000

売掛金元帳

埼玉商事

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前月繰越	✓	20,000		借	20,000

静岡商事

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前月繰越	✓	10,000		借	10,000

買 掛 金 元 帳

千葉物産

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前 月 繰 越	✓		6,000	貸	6,000

長野商事

○年		摘要	仕丁	借方	貸方	借 貸	残高
6	1	前 月 繰 越	✓		4,000	貸	4,000

問3 証ひょう

つぎの各証ひょうにもとづいて、神奈川商事株式会社で必要な仕訳をしなさい。

- ① 商品を仕入れ、商品とともにつぎの請求書を受け取り、代金は後日支払うことにした。なお、消費税は税抜方式で記帳している。

請 求 書			
神奈川商事株式会社 御中		千葉物産株式会社	
品物	数量	単価	金額
Tシャツ	10	2,000	20,000円
ポロシャツ	10	5,000	50,000円
消費税			7,000円
合計			77,000円
○年10月31日までに合計額を下記口座へお振込みください。 南北銀行〇〇支店 普通00000 チバブッサン(カ)			

- ② 法人税を普通預金口座から振り込んだ。

領 収 証 書			
科目	本 税	¥ 200,000	納期等 × 10401 の区分 × 20331
法人税	〇〇税		中間 申告 確定 申告
	〇〇税		
	〇〇税		
	合計額	¥ 200,000	
住所	神奈川県横浜市〇〇〇1-2-3		
氏名	神奈川商事株式会社		
出納印 × 2,11,25 南北銀行			

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問4 試算表

つぎの資料にもとづいて、5月末日現在の合計残高試算表を作成しなさい。

【資料1】4月末日現在の合計試算表

合 計 試 算 表

借方合計	勘 定 科 目	貸方合計
85,000	現 金	22,000
64,000	売 掛 金	26,000
80,000	備 品	
15,000	買 掛 金	36,000
	未 払 金	10,000
	資 本 金	100,000
	繰越利益剰余金	20,000
	売 上	140,000
88,000	仕 入	
22,000	給 料	
354,000		354,000

【資料2】5月中の取引

5月7日 埼玉商事から商品30,000円を仕入れ、代金のうち10,000円は現金で支払い、残額は掛けとした。

10日 愛知産業に商品25,000円を売り上げ、代金は掛けとした。

15日 備品50,000円を購入し、代金は翌月末払いとした。

20日 千葉商事に対する売掛金28,000円を現金で回収した。

25日 従業員の給料12,000円を現金で支払った。

合 計 残 高 試 算 表

借方残高	借方合計	勘 定 科 目	貸方合計	貸方残高
		現 金		
		売 掛 金		
		備 品		
		買 掛 金		
		未 払 金		
		資 本 金		
		繰越利益剰余金		
		売 上		
		仕 入		
		給 料		

第11章 決算手続き

練習問題

問1 貸倒れと貸倒引当金

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 現金 売掛金 貸倒引当金 償却債権取立益 貸倒損失 貸倒引当金繰入

- ① 得意先山梨商事株が倒産し、売掛金 20,000 円（当期に発生）が貸し倒れた。
- ② 決算日において、売掛金 120,000 円の期末残高について 2% の貸倒引当金を設定する。なお、貸倒引当金の期末残高が 600 円である。
- ③ 得意先埼玉産業株が倒産し、売掛金 12,000 円（前期に発生）が貸し倒れた。なお、貸倒引当金の残高が 3,000 円ある。
- ④ 前期に貸倒処理した売掛金 10,000 円を現金で回収した。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問2 売上原価の算定

つぎの各問に答えなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 繰越商品 仕入 売上原価

- ① 期首商品棚卸高は 8,000 円、当期商品仕入高は 60,000 円、期末商品棚卸高は 5,000 円であった。売上原価を算定する決算整理仕訳をしなさい。なお、売上原価は仕入勘定で算定すること。
- ② 期首商品棚卸高は 11,000 円、当期商品仕入高は 80,000 円、期末商品棚卸高は 12,000 円であった。売上原価を算定する決算整理仕訳をしなさい。なお、売上原価は売上原価勘定で算定すること。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

問3 費用・収益の前払い・前受け

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。
また、当期は×1年4月1日から×2年3月31日までの1年である。

勘定科目 前払家賃 前払保険料 前受手数料 前受地代 受取手数料
受取地代 支払家賃 保険料

- ① 決算において、支払家賃のうち、次期分60,000円を前払計上する。
- ② 翌期首になり、①の再振替仕訳をした。
- ③ 決算において、受取手数料のうち、次期分80,000円を前受計上する。
- ④ 翌期首になり、③の再振替仕訳をした。
- ⑤ 決算において、保険料の前払計上をする。なお、保険料24,000円は×1年12月1日に、向こう1年分（×1年12月1日から×2年11月30日まで）を支払ったものである。
- ⑥ 決算において、地代の前受計上をする。地代30,000円は×2年3月1日に、向こう半年分（×2年3月1日から×2年8月31日まで）を受け取ったものである。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

問4 費用・収益の未払い・未収

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。
また、当期は×1年4月1日から×2年3月31日までの1年である。

勘定科目 未収地代 未収利息 未払手数料 未払家賃 受取地代 受取利息
支払手数料 支払家賃

- ① 決算において、当期の支払手数料の未払分20,000円を計上した。
- ② 翌期首になり、①の再振替仕訳をした。
- ③ 決算において、当期の地代の未収分60,000円を計上した。
- ④ 翌期首になり、③の再振替仕訳をした。
- ⑤ ×1年12月1日に店舗用建物を賃借し、半年分の賃借料120,000円は×2年5月31日に支払うことにした。決算において、当期の家賃を未払計上する。
- ⑥ ×1年10月1日に現金150,000円を年利率2%、貸付期間1年、利息は返済時に受け取る条件で貸し付けた。決算において、当期の利息を未収計上する。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

第12章 精算表と財務諸表の作成・帳簿の締め切り

練習問題

問1 精算表の作成

つぎの〔決算整理事項等〕にもとづいて、精算表を作成しなさい。なお、会計期間は×1年4月1日から×2年3月31日までの1年間である。

〔決算整理事項等〕

- ① 売掛金 2,000 円が普通預金口座に振り込まれていたが、この取引の記帳がまだ行われていない。
- ② 現金過不足の原因を調べたところ、郵便切手代（郵送に使用済み） 3,000 円の記入漏れが判明したが、これ以外は不明のため、雑損または雑益で処理する。
- ③ 売掛金の期末残高に対して 2% の貸倒引当金を差額補充法で設定する。
- ④ 期末商品棚卸高は 54,000 円である。なお、売上原価の計算には仕入勘定を用いる。
- ⑤ 建物および備品について、定額法による減価償却を行う。なお、建物および備品の期中取得はない。
建物：残存価額ゼロ 耐用年数 25 年
備品：残存価額ゼロ 耐用年数 6 年
- ⑥ 借入金は、期間 1 年、年利率 3%、利息は借入時に支払う条件で、×1 年 12 月 1 日に借り入れたものである。そこで、利息の前払分を月割で適切に処理する。
- ⑦ 消費税の処理（税抜方式）を行う。
- ⑧ 税引前の利益に対して 30% の法人税、住民税及び事業税を計上する。なお、中間納付は行っていない。

精 算 表

勘 定 科 目	試 算 表		修 正 記 入		損益計算書		貸借対照表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	64,000							
現金過不足	5,000							
普 通 預 金	80,000							
売 掛 金	92,000							
仮払消費税	62,000							
繰越商品	56,000							
建 物	1,500,000							
備 品	240,000							
買 掛 金		60,000						
借 入 金		500,000						
仮受消費税		88,000						
貸倒引当金		800						
建物減価償却累計額		360,000						
備品減価償却累計額		120,000						
資 本 金		600,000						
繰越利益剰余金		250,000						
売 上		880,000						
仕 入	620,000							
給 料	120,000							
通 信 費	4,800							
支 払 利 息	15,000							
	2,858,800	2,858,800						
雑 ()								
貸倒引当金()入								
減価償却費								
() 利 息								
() 消費税								
法人税、住民税及び事業税								
() 法人税等								
当期純利益								

問2 財務諸表の作成

つぎの(1) 決算整理前残高試算表と(2) 決算整理事項等にもとづいて、損益計算書と貸借対照表を完成させなさい。

(1) 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表

借 方	勘 定 科 目	貸 方
42,000	現 金	
166,000	普 通 預 金	
140,000	売 掛 金	
18,000	仮払法人税等	
75,000	繰 越 商 品	
120,000	備 品	
1,000,000	土 地	
	買 掛 金	70,000
	貸 倒 引 当 金	1,000
	備品減価償却累計額	40,000
	資 本 金	1,000,000
	繰越利益剰余金	310,000
	売 上	980,000
	受 取 手 数 料	24,000
680,000	仕 入	
80,000	給 料	
14,000	通 信 費	
60,000	支 払 家 賃	
30,000	保 険 料	
2,425,000		2,425,000

(2) 決算整理事項等

- ① 得意先から商品の内金10,000円を現金で受け取っていたが、これを売上として処理していたことがわかった。
- ② 売掛金の期末残高に対して3%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- ③ 期末商品棚卸高は78,000円である。
- ④ 備品について、定額法により減価償却を行う（残存価額：ゼロ、耐用年数：6年）。
- ⑤ 家賃の前払額が20,000円ある。
- ⑥ 受取手数料の前受額が12,000円ある。
- ⑦ 法人税が34,000円と計算されたので、仮払法人税等との差額を未払法人税等として計上する。

損 益 計 算 書

×1年4月1日から×2年3月31日まで

(単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	()	売 上 高	()
給 料	()	受 取 手 数 料	()
通 信 費	()		
支 払 家 賃	()		
保 険 料	()		
貸倒引当金繰入	()		
減 価 償 却 費	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当 期 純 利 益	()		
	()		()

貸 借 対 照 表

×2年3月31日

(単位：円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	()	買 掛 金	()
普 通 預 金	()	前 受 金	()
売 掛 金	()	前 受 収 益	()
貸 倒 引 当 金	() ()	未 払 法 人 税 等	()
商 品	()	資 本 金	()
前 払 費 用	()	繰越利益剰余金	()
備 品	()		
減価償却累計額	() ()		
土 地	()		
	()		()

問3 帳簿の締め切り①

つぎの取引について仕訳しなさい。なお、勘定科目はつぎの中から選ぶこと。

勘定科目 繰越利益剰余金 売上 受取家賃 仕入 損益

- ① 売上勘定の残高 20,000 円と受取家賃勘定の残高 3,000 円を損益勘定に振り替えた。
- ② 仕入勘定で算定された売上原価 16,000 円を損益勘定に振り替えた。
- ③ 損益勘定で算定された当期純利益 7,000 円を繰越利益剰余金勘定に振り替えた。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				

問4 帳簿の締め切り②

つぎの決算整理後の各勘定残高にもとづいて、①各勘定から損益勘定に振り替える仕訳（損益振替仕訳）と、②損益勘定から繰越利益剰余金勘定に振り替える仕訳（資本振替仕訳）を示し、③損益勘定に記入しなさい。

売 上		受取手数料	
	諸 口 50,000		諸 口 12,000
仕 入		支 払 家 賃	
諸 口 35,000		諸 口 6,000	

① 各勘定から損益勘定に振り替える仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				

② 損益勘定から繰越利益剰余金勘定に振り替える仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				

③ 損益勘定への記入

損		益	
(	) (	) (	)
(	) (	) (	)
(	) (	) (	)